

新金型

1/700 帝国海軍シリーズ No56

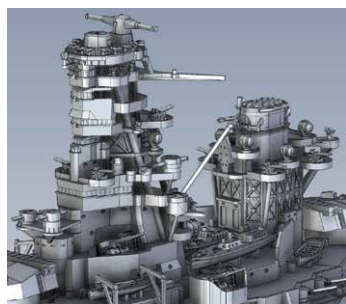
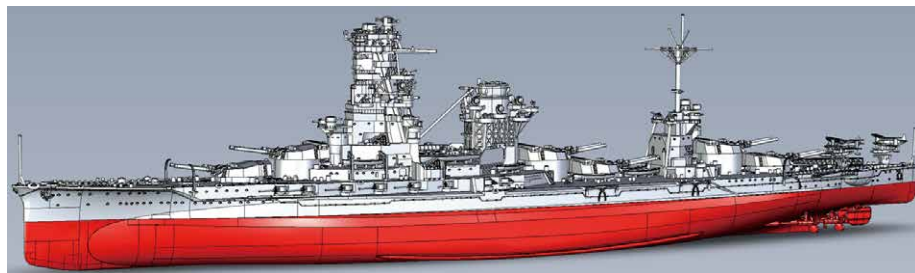
日本海軍戦艦 伊勢

4968728452548

価格(税込)：5,390円

発送日：11月26日

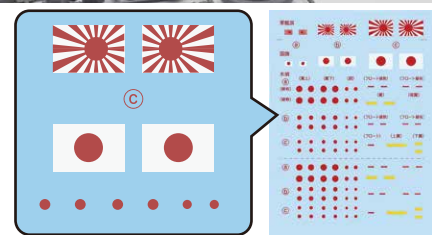
入数：20



新金型追加



- 製品は改装後形状・昭和16～17年の太平洋戦争序盤、航空戦艦への改装前の姿をモチーフにしています。
- 舷側や上甲板は、製品化済みの航空戦艦伊勢とは異なる戦艦用の専用金型部品。
- 艦橋も戦艦仕様としての専用金型による部品で、上部見張所は日向との差を作り分け。
- 艦底とバルジ・推進器・舵は、新規金型によるもので左右は一体、喫水線で分割する構成。
- 水線下のバルジは艦底とは別部品化。ビルジキールはバルジと一体表現。
- クロスツリー・マストトップは日向との形状差を再現する専用部品。
- デカールは軍艦旗・国旗および艦載機の日丸などマーキング類を収録したデカールが2枚付属。
- 完成時サイズ:(約)全長357×全幅49×全高72mm



NEW

1/72 Cシリーズ No44

日本海軍 九九式艦上爆撃機11型 “九九艦爆11型・真珠湾”

4968728723785

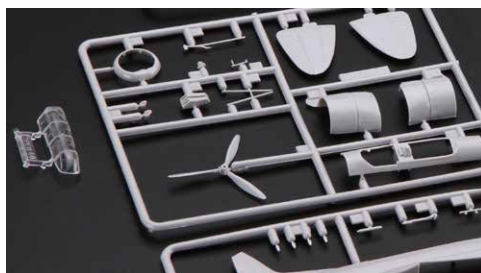
価格(税込)：2,640円

発送日：11月17日

入数：48



日本海軍が運用した艦上爆撃機が九九式艦上爆撃機(九九艦爆)です。日本海軍における爆撃機は急降下爆撃を主任務としており、九九艦爆は1939年(昭和14年)に制式採用。最初の量産型である11型は、真珠湾攻撃をはじめとする太平洋戦争緒戦期の空母機動部隊の主力として活躍し、熟練の搭乗員を擁した艦爆隊は、時に80%を超える驚異的な命中率を記録しました。1941年12月の真珠湾攻撃は、その後の海戦のあり方を変える歴史の転換点となりましたが、ゼロ戦、九七艦攻と共にその立役者となった九九艦爆は、まさに歴史を変えた傑作機と言えるのです。



- 1941年(昭和16年)12月の真珠湾攻撃から、まもなく85年。記念すべきこの歴史の節目に、その主役の一角を占めた日本海軍の翼が登場します。
- 九九式艦上爆撃機、略して“九九艦爆”。太平洋戦争の緒戦期に、急降下爆撃機として活躍したその姿をモデル化。
- 85年前、6隻の空母を中心に太平洋をハワイへと向かった連合艦隊。そこから世界の海戦のあり方は大きく変わりました。
- その立役者となった“真珠湾トリオ”の一員として、世界の航空機ファンに知られる九九艦爆。歴史に刻まれたその姿を1/72スケールでお楽しみください。
- 急降下爆撃機というカテゴリーを代表する存在として航空史に名を残す九九式艦上爆撃機。その最初の量産型となった11型をモチーフにしています。
- 未塗装プラスチックモデル組み立てキット。1/72スケール。完成時サイズ:(約)全長141×全幅199mm。部品点数56点。
- 構内翼に固定脚の特徴的なスタイルを、スジ彫り再現のパネルラインでモデル化しました。
- デカールには空母赤城搭載機など、真珠湾攻撃に参加した機体3種のマーキングを収録。

新金型

新規で金型開発した製品です。

NEW

新しい仕様で登場した製品です。

※掲載イラスト・写真はイメージです。実際の製品内容とは異なる場合があります。
※原材料の確保状況により、やむを得ず発売を延期させていただく場合がございます。